

推薦入学試験

1. 出願資格および選考方法

運動科学科 スポーツ科学専攻

一般推薦（書類審査＋実技＋面接）とスポーツ推薦（書類審査＋面接）を実施。
一般推薦は総合評価。スポーツ推薦では特にスポーツ活動実績を重視して評価します。

試験区分 [募集人員内訳]	一般推薦 [45名]	スポーツ推薦 [45名]
出願資格	①運動技能・学力・人物に優れ、出身高等学校長から推薦のある者 ②本学を第1志望校とする者	①競技力・学力・人物に優れ、出身高等学校長から推薦のある者 ②本学を第1志望校とする者
推薦基準	下記①、②の両条件を満たす者 ①学業成績全体の評定平均値が3.0以上 ②教科「保健体育」の評定平均値が3.5以上（体育科、体育コースの場合は3.0以上）	下記①、②、③のいずれかに該当し、かつ学業成績全体の評定平均値が原則として3.0以上の者 ①国民体育大会出場またはそのブロック大会出場 ②全国高等学校総合体育大会の各都道府県予選8位以内 ③①、②の条件以上の競技成績を持っていると高等学校長が認める者 *原則として、オリンピック・全国高等学校総合体育大会・国民体育大会のいずれかで実施されている種目とする
選考方法	書類審査：20点 実技(28種目から1種目を選択)：60点 面接：20点 合計100点 ▶器械運動 ▶走り幅跳び ▶50m平泳ぎ ▶ハンドボール ▶新体操 ▶走り高跳び ▶50m背泳ぎ ▶サッカー ▶100m走 ▶三段跳び ▶50mバタフライ ▶ソフトボール ▶300m走 ▶砲丸投げ ▶200m自由形 ▶テニス ▶1500m走 ▶円盤投げ ▶200m個人メドレー ▶ソフトテニス ▶3000m走 ▶やり投げ ▶バスケットボール ▶バドミントン ▶100mH ▶50mクロール ▶バレーボール ▶一般技能 *実技試験の内容は5ページ参照	書類審査：80点 面接：20点 合計100点

運動科学科 舞踊学専攻

一般推薦（書類審査＋実技）と特別推薦（書類審査＋面接）を実施。
特別推薦は、コンクール等の受賞者が対象となるので出願の際は注意が必要です。

試験区分 [募集人員内訳]	一般推薦 [35名(特別推薦若干名含む)]	特別推薦 [若干名]
出願資格	①ダンス技能・学力・人物に優れ、出身高等学校長から推薦のある者 ②本学を第1志望校とする者	①ダンス技能・学力・人物に優れ、出身高等学校長から推薦のある者 ②本学を第1志望校とする者
推薦基準	下記①、②の両条件を満たす者 ①学業成績全体の評定平均値が3.0以上 ②ダンス経験のある者	下記①、②の両条件を満たす者 ①学業成績全体の評定平均値が原則として3.0以上 ②高校3年間に於いて、下記のいずれかの舞踊コンクールまたはダンス系の競技大会で受賞(個人・群舞) ●日本女子体育大学主催全国中学校・高等学校ダンスコンクールの高等学校の部で3位以内 ●全日本高等学校・大学ダンスフェスティバル(神戸)で文部科学大臣賞を受賞 ●その他の全国舞踊コンクール ▶東京新聞主催全国舞踊コンクール ▶埼玉全国舞踊コンクール ▶こうべ全国舞踊コンクール ▶北九州 & アジア全国洋舞コンクール ▶あきた全国舞踊コンクール ▶全日本バレエコンクール *上記に準ずるもの
選考方法	書類審査：参考程度 実技：100点 合計100点 (ソロによる自由演技) *実技試験の内容は6ページ参照	書類審査：80点 面接：20点 合計100点

スポーツ健康学科

健康スポーツ学専攻

一般推薦（書類審査＋小論文＋面接）とスポーツ推薦（書類審査＋面接）を実施。
 一般推薦は総合評価。スポーツ推薦では特にスポーツ活動実績を重視して評価します。

試験区分 [募集人員内訳]	一般推薦 [40名]	スポーツ推薦 [15名]
出願資格	①健康とスポーツの関係に関心があり、学力・人物に優れ、出身高等学校長から推薦のある者 ②本学を第1志望校とする者	①競技力、学力・人物に優れ、出身高等学校長から推薦のある者 ②本学を第1志望校とする者
推薦基準	下記①、②の両条件を満たす者 ①学業成績全体の評定平均値が3.0以上 ②教科「保健体育」の評定平均値が3.0以上	下記①、②、③のいずれかに該当し、かつ学業成績全体の評定平均値が原則として3.0以上の者 ①国民体育大会出場またはそのブロック大会出場 ②全国高等学校総合体育大会の各都道府県予選8位以内 ③①、②の条件以上の競技成績を持っていると高等学校長が認める者
選考方法	書類審査：40点 小論文：30点 面接：30点 合計100点	書類審査：80点 面接：20点 合計100点

スポーツ健康学科

幼児発達学専攻

一般推薦（書類審査＋小論文＋面接）のみ。総合評価となります。

試験区分 [募集人員内訳]	一般推薦 [12名]
出願資格	①幼児教育・スポーツに関心があり、学力・人物に優れ、出身高等学校長から推薦のある者 ②本学を第1志望校とする者
推薦基準	下記①、②の両条件を満たす者 ①学業成績全体の評定平均値が3.2以上 ②教科「保健体育」・教科「芸術」のいずれかの評定平均値が3.5以上
選考方法	書類審査：20点 小論文：50点 面接：30点 合計100点

2. 実技試験内容（運動科学科・一般推薦）

スポーツ科学専攻

種 目	種目内容	持 ち 物	
器械運動	マット運動（倒立前転、ロンダート、後転倒立、前転とび） （技のできばえを評価）	運動着	
新体操	縄（回旋・跳躍および跳び方の課題を音楽に合わせ、リズムカルに跳ぶ） （他に新体操の徒手要素の技のできばえを評価）	運動着	
陸上競技	100m 走	クラウチングスタートからセバレーンで行う （一連の動きおよび測定された記録により判定）	運動着・シューズ * 陸上競技場は全天候型の走路のため、 スパイクシューズが使用可能 （ただし、砲丸投げは除く）
	300m 走	クラウチングスタートからセバレーンで行う （一連の動きおよび測定された記録により判定）	
	1500m 走	スタンディングスタートを用い、その後はオープンレーンとする （一連の動きおよび測定された記録により判定）	
	3000m 走	スタンディングスタートを用い、その後はオープンレーンとする （一連の動きおよび測定された記録により判定）	
	100mH	クラウチングスタートからセバレーンで行う （一連の動きおよび測定された記録により判定）	
	走り幅跳び	自分に適した助走距離を用いて、踏切り線を越えないように踏み切る （一連の動きおよび測定された記録により判定）	
	走り高跳び	自分に適した助走距離を用いて、片脚で踏み切る （一連の動きおよび測定された記録により判定）	
	三段跳び	自分に適した助走距離を用いて、踏切り線を越えないように踏み切る （一連の動きおよび測定された記録により判定）	
	砲丸投げ	グライド等を用いてルールに合わせて砲丸を投げる （一連の動きおよび測定された記録により判定）	
	円盤投げ	ターン等を用いてルールに合わせて円盤を投げる （一連の動きおよび測定された記録により判定）	
	やり投げ	クロスステップ等を用いてルールに合わせてやりを投げる （一連の動きおよび測定された記録により判定）	
水 泳	50m クロール	各泳法とも 25m プールで行う 飛び込みは行わず、水中で壁を蹴ってのスタートとする （一連の動きおよび測定された記録により判定）	水着・水泳帽・ゴーグル * ゼッケンは不要
	50m 平泳ぎ		
	50m 背泳ぎ		
	50m バタフライ		
	200m 自由形		
	200m 個人メドレー		
バスケットボール	1対1による攻防 （ボールコントロール能力、ボディコントロール能力、シュート力を判定）	運動着・室内用シューズ	
バレーボール	サーブ、対人レシーブ、スパイク、3段攻撃 （ボールコントロール能力、ボディコントロール能力を判定）	運動着・室内用シューズ	
ハンドボール	1対1による攻防 （ボールコントロール能力、ボディコントロール能力、シュート力を判定）	運動着・室内用シューズ・ 滑り止め用両面テープ	
サッカー	パスの交換やドリブルからシュート （ボールコントロール能力、ボディコントロール能力、シュート力を判定）	運動着・シューズ（人工芝に適したもの・ 雨天時は室内用シューズも持参）	
ソフトボール	ゴロキャッチ&スロー、ティーバッティング （ボールコントロール能力、ボディコントロール能力、バットコントロール能力を判定）	運動着・シューズ （雨天時は室内用シューズも持参） * バット・グラブ等は用意あり。持参も可能	
テニス	①ストロークのコンビネーション ②簡易ゲーム（ラケットコントロール能力、 ボディコントロール能力を判定）	運動着・シューズ・ラケット （雨天時は室内用シューズも持参）	
ソフトテニス	①フォアハンド、バックハンドのストローク ②ポジション別課題（前衛：ボレー、スマッシュ 後衛：ストロークのコンビネーション） ③簡易ゲーム（ダブルス）（ラケットコントロール能力、ボディコントロール能力を判定）	運動着・シューズ・ラケット （雨天時は室内用シューズも持参）	
バドミントン	各種フライト、簡易ゲーム （ラケットコントロール能力、ボディコントロール能力を判定）	運動着・室内用シューズ・ラケット	
一般技能	方向変換走・サイドステップの組み合わせ （ボディコントロール能力を判定）	運動着・室内用シューズ	

※ 悪天候等で屋外での試験実施が不可能になった場合は、その種目特性に合わせた試験内容を屋内で実施します

舞踊学専攻

課 題	内 容	持 ち 物
ソロによる自由演技	音楽：本学で用意する 方法：最初の約 30 秒間は音楽を聴き、その後約 3 分間踊る (同時に 3～4 名で試験を実施)	踊ることのできる服装(身体のラインが見えるものが望ましい) * シューズの使用は自由(会場はリノリウム敷き)

3. 出願手続

入学検定料 33,000 円 下記のいずれかの方法で入学検定料を納入の上、出願してください。

納 入 方 法	手 順
①銀行振込 (ゆうちょ銀行は除く)	<p>● 受験票(Ⓐ票)に付いている振込依頼書(Ⓒ票)を使用する</p> <ol style="list-style-type: none"> Ⓐ票～Ⓓ票を銀行へ持参し、入学検定料を振り込む Ⓑ票～Ⓓ票に取扱銀行印が押印される Ⓐ票とⒷ票は切り離さずに、他の出願書類とともに提出 * Ⓓ票は提出不要
②コンビニでの 支払い	<p>● 同封のリーフレット「コンビニエンスストア・クレジットカードでの入学検定料払込方法」を参照する</p> <ol style="list-style-type: none"> 事前にリーフレット記載のサイトで申し込み、払い込みに必要な番号を取得 番号を持参の上、店頭で入学検定料を支払う 支払い後、写真票(Ⓑ票)の貼付欄に「収納証明書」を貼付 Ⓐ票とⒷ票は切り離さずに、他の出願書類とともに提出 * Ⓒ票・Ⓓ票は提出不要
③クレジットカードでの 支払い	<p>● 同封のリーフレット「コンビニエンスストア・クレジットカードでの入学検定料払込方法」を参照する</p> <ol style="list-style-type: none"> 画面の指示に従って必要事項を入力し、そのままカード決済する 受付番号(12桁)を取得し、「申込内容照会」へアクセスして収納証明書を印刷する 収納証明書を切り取り、写真票(Ⓑ票)の貼付欄に貼付 Ⓐ票とⒷ票は切り離さずに、他の出願書類とともに提出 * Ⓒ票・Ⓓ票は提出不要

出願書類

下記の書類を出願用の封筒に同封し、簡易書留速達郵便で送付してください。

出 願 書 類	注 意 事 項
①入学願書	<ul style="list-style-type: none"> ● 「出願書類の記入例」(19 ページ) を参照して記入 ● 訂正する際は二重線を引き、訂正印を押印してください ● 「受験または修学にあたり大学に伝えておきたい健康上の事由」欄について <ul style="list-style-type: none"> ▶ “有” または “無” のいずれかを必ず○で囲む。 ▶ 健康状況で合否が決まることはありません。 ▶ 本学が体育大学である特性上、入学試験および入学後のために健康状況を把握する必要があります。出願に先立ち、大学へ伝えておきたい健康上の事由がある場合は、現在の症状や治療状況、注意すべき点等を記入してください。 ▶ 疾病・障がいがあり、入学後に特別の配慮を必要とする場合は、必ず出願開始日の2週間前までに入試・広報課(03-3300-2250)までご連絡、ご相談ください。
②受験票・写真票	<ul style="list-style-type: none"> ● 「出願書類の記入例」(20 ページ) を参照して記入 ● 写真貼付欄(2ヶ所)に、出願前3ヶ月以内に撮影した写真(カラー、白黒どちらでも可。同一の写真を使用)を貼付 ● 受験票の裏面に郵便番号・住所・氏名を記入
③調査書	<ul style="list-style-type: none"> ● 高等学校長が作成し、厳封したもの(出願前3ヶ月以内のもの)
④推薦書	<ul style="list-style-type: none"> ● 高等学校長が作成し、厳封したもの ● スポーツ推薦出願者は、スポーツ推薦運動歴記入欄に記入した競技成績の証明資料を貼付 ● スポーツ科学専攻の一般推薦出願者は、「スポーツ活動実績調査書」に該当事項を記入(証明資料は不要) ● 舞踊学専攻出願者は、「所属証明書(舞踊歴証明書)」を貼付 また、舞踊コンクール出場歴および受賞歴がある場合は証明資料を貼付
⑤宛名ラベル用紙	<ul style="list-style-type: none"> ● 郵便番号・住所・氏名を記入(1片のみ)

出願上の注意

1. 出願は原則として郵送のみ受け付けます。
2. 出願後に志望専攻、試験区分、実技試験種目の変更は、いかなる理由があっても**できません**。
3. 一度提出した出願書類・納入した入学検定料は、理由の如何に拘わらず**一切返還できません**。
4. 出願書類に不備があるもの、および出願締切後、本学に到着したものは受理しませんので、提出に際しては十分注意してください。
5. 推薦入学試験で不合格となった場合でも、その後、本学が実施する入学試験に出願することができます。ただし、この場合は改めて出願手続きが必要となります。
6. 調査書以外の書類は、本学所定用紙を使用し、黒ボールペン(消せるペンは不可)で記入してください。
7. 外国人留学生については、「日本留学試験(日本語)※記述も含む」の成績通知書、または「日本語能力試験」の新試験(N1)または旧試験(1級)の合格証明書のコピーを提出してください。
8. 推薦入学試験は、専願制です。他大学・短大との併願はできません。

4. 試験日程

出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表 日	入 学 手 続 期 限
2018.11.1(木)～11.8(木) 郵送必着	2018.11.17(土)	2018.11.26(月)	2018.12.7(金) 郵送必着 (納付金の納入含む★)

★2018年度参考：867,500円(納付金については17ページ参照)

試験時間割

スポーツ科学専攻	一般推薦	9:00～説明 9:30～面接 11:00～更衣、実技試験
	スポーツ推薦	12:00～面接
舞踊学専攻	一般推薦	9:00～説明 9:40～実技試験
	特別推薦	9:10～面接
健康スポーツ学専攻	一般推薦	9:00～10:00 小論文 10:30～面接
	スポーツ推薦	9:00～面接
幼児発達学専攻	一般推薦	9:00～10:00 小論文 10:30～面接

※ 試験時間割については変更になる場合があります

受験上の注意

- 健康スポーツ学専攻と幼児発達学専攻の一般推薦受験生は、筆記用具を必ず持参してください。
- 試験当日は 8:00 から入構できます。8:45 までに試験場に入場してください（スポーツ科学専攻のスポーツ推薦受験生は 11:45 までに入場）。また、付添者には控室を用意しています。
- 小論文試験の入室限度時刻は、試験開始後 20 分までです。
- 試験の実施要領は、当日配布します。
- 試験会場の下見は、11月16日（金）12:00～16:00 まで可能です。ただし、試験室の中までは入れません。
- スポーツ科学専攻一般推薦の実技試験は、出願時に選択した種目で受験してください。出願後の変更はできません。異なる種目で受験した場合は、無効となります。また、軽食は各自で用意してください。
- 実技試験の注意
 - 受験種目に適した運動着およびシューズやラケット等を持参してください。
 - 運動着には、白い布に油性の黒マジックで受験番号を明記したゼッケンを 2 枚、**胸面と背面に縫いつけておいてください（舞踊学専攻含む）。**
受験番号は幅 1cm 程度の太い文字で大きくはっきりと書いてください。
- 学内および本学付近には駐車場がありません。車での来校はご遠慮ください。



5. 合格発表

発表当日 10:00 より、携帯またはパソコンで確認できます。詳細については、同封のリーフレット「日本女子体育大学合格発表」を参照してください。また、合格者には合格通知書と入学手続書類を、不合格者には不合格通知書を、速達郵便で発表当日に発送します（配達は翌日以降となります）。

試験当日、バス停・駅付近の合否電報・電話、インターネット（PC、携帯、メール）による合否発表サービスなどの勧誘を行う業者がありますが、本学とは一切関係ありません。誤報による事故が生じても本学は一切責任を負いませんので、ご注意ください。

日本女子体育大学合格発表サイト
<https://www.go-hi.jp/jwcpe/>



※ 掲示による発表は行いません。
 また、合格発表に関する電話での問い合わせには応じられません。

6. 入学前教育

本学では、大学教育を受ける準備として推薦入学試験の入学手続者に対し、「入学前教育」を用意しています。詳細は、入学手続完了後にお知らせします。